

2023年10月30日

取締役会の実効性評価結果の概要について

株式会社シルバーライフ

当社は、持続的な企業価値の向上を目指し、取締役会の実効性向上に向けた課題を明らかにし、改善に繋げる目的として、取締役会の実効性評価を行っております。

この度、2023年7月期の取締役会について評価いたしましたので、その概要を開示いたします。

1. 評価方法

取締役会の実効性に関するアンケート用紙を、全取締役8名に配布し、8名からの回答を得ました。アンケート結果については、今期より新たに設置された「指名・報酬委員会」においてその内容が共有され、2023年7月期における当社取締役会の実効性についての評価、及び今後の更なる取締役会の実効性向上に向けた課題について検討が行われました。

対象者：取締役8名

回答者：取締役8名

回答方式：無記名アンケート方式

評価項目：

- I 取締役会の構成（3問）
- II 取締役会の運営（8問）
- III 取締役会の役割・責務（3問）
- IV 取締役・取締役会を支える体制（2問）
- V 今後の取締役会運営について（2問）

2. 評価結果の概要

2023年7月期における当社取締役会は、その構成（人員、社内・社外取締役の比率など）、取締役会付議事項の内容及び審議時間について、おおむね適切であることが確認されました。一方で、取締役会資料については取締役への共有をより早く行うよう求める意見がありました。

取締役会の運営については、各取締役が議論への積極的な参加・発言のうえ運営されているとの意見が多く、特に社外取締役各々の専門性を十分に活かした意見・提言が行われていると意見がありました。

結果、2023年7月期の当社取締役会は十分にその機能を発揮しており、実効性は確保されていると判断をいたしました。

3. 実効性向上に向けた取り組み

アンケート回答において、今後、取締役間相互のコミュニケーションをより一層深めていくことを課題とする意見が挙がり、「特に経営戦略」「人材育成（CEO等の後継者計画含む）」「サステナビリティ」など、企業の重要課題について、更なる議論の充実を望む意見が多く挙がっております。

そうした様々な課題に対して、包括的に取り組んでいくことを目的に、2024年7月期については、以下の取り組みを推進していくことが提起され、実施することとなりました。

・取締役相互の意見交換の実施

当社の中長期的な経営課題について、各取締役が率直な意見交換を行うための場を、取締役会とは別に「意見交換会」として設ける。

具体的に取り扱うテーマ設定については個別に決定し、都度異なるテーマで議論を行うことで以下のような効果を期待する。

- ・中長期的な課題に対する、各取締役の意見形成・認識共有の場とすることで、取締役間の相互理解を深めていく。
- ・あらかじめ意見交換がなされることにより、今後の取締役会において決議される内容の有効性・妥当性の十分な検証が図られる。
- ・将来的な後継者育成を念頭に、当社の経営課題について現状理解及び意見交換をより深めていくことで、課題解決のトレーニングの場としていく。

4. 今後の実効性評価について

上記の分析・評価結果及びを踏まえて、取締役会がこれまで以上に当社の重要な経営課題に対して積極的に機能を発揮していき、その取組状況を評価する機関として、指名・報酬委員会において継続的な検証・評価を行うことで、取締役会の更なる実効性の向上に努めるとともに、当社にとって最適なコーポレートガバナンス体制を構築してまいります。

以上